

新型コロナウイルス ワクチン 小児接種(5歳～11歳)ができるようになります

対象 5歳～11歳の人(1回目の接種日時時点)

接種券の送付時期

- ①平成29年3月16日～10月1日生まれの人：5歳に到達した月の翌月初旬に送付します。
- ②平成22年4月2日～平成29年3月15日生まれの人：3月11日に発送しています。

※平成22年3月2日～4月1日生まれの人へは、小児用ワクチンではなく、12歳以上用のワクチン接種の案内を4月1日(金)に発送する予定です。

接種回数 合計2回(1回0.2mlを通常3週間の間隔で接種します)

ワクチンの種類

1回目接種時に5歳～11歳の人には、小児用のファイザー社ワクチンを接種します(12歳以上用のワクチンと濃度が異なります)。2回目の接種時に12歳に到達している場合も、同じワクチンの接種を行います。

なお、1回目の接種時に12歳に到達している場合は、12歳以上用のワクチンを接種します。

保護者の同意・立ち会い 子どもの新型コロナウイルス ワクチン接種の際には、保護者の同意・立ち会いが必要です。

接種時には声掛けを行うほか、子どもが注射針を見ないようにするなど、不安や緊張を

和らげる対応をお願いします。

予約の受け付け

新型コロナウイルス ワクチン接種には、必ず事前に予約が必要です。接種券と一緒に各医療機関での予約方法などの詳細を記載した用紙を送付しますので、ご確認ください。

接種の費用 無料(個人負担なし)

その他 新型コロナウイルスと他の定期接種のワクチンとの接種間隔などについては医師にご相談ください。

また、小児の予防接種記録は母子健康手帳で管理しているため、接種の際には母子健康手帳をお持ちください。

☎ 高梁市新型コロナウイルスコールセンター
21・0211

このワクチン接種は任意です。接種を受ける人とその家族などは、ワクチンの効果や副作用などの注意すべき点について十分理解し、説明に同意した上で接種を受けてください。日本小児科学会によると、20歳未満の感染者の感染経路の約7割が家庭内感染であるといわれています。感染症対策として、まずは保護者のワクチン接種をご検討ください。

新型コロナウイルス ワクチン接種に関する質問

出典：厚生労働省ウェブサイト



将来の身体への影響は？

mRNA(メッセンジャーRNA)を注射することで、その情報が人の遺伝情報(DNA)に長期に残ったり、精子や卵子の遺伝情報に取り込まれることはないと考えられています。

過去に他のワクチンや食品などにアレルギー反応があった人は？

予診票にアレルギーの情報をできる限り記載の上、事前にかかりつけ医に相談するか、もしくは接種当日に医師にご相談ください。

ワクチン接種後に起こるかもしれない症状は？

接種後に「注射した部分の痛み」「疲労」「頭痛」「筋肉や関節の痛み」「寒気」「下痢」「発熱」などの症状がみられることがあります。こうした症状の大部分は、接種後数日以内に回復しています。

※ファイザー製の新型コロナウイルスに関する情報はこちらからご覧ください。

